

2026年6月16日

各位

鳥居薬品株式会社

ウイルス性疣贅治療剤「T0-208」（一般名：カンタリジン）の 尋常性疣贅を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験開始について

鳥居薬品株式会社（以下「当社」）は、米国の Verrica Pharmaceuticals Inc.（以下「Verrica 社」）との間で2021年3月に、Verrica 社が開発を進めてきた VP-102（米国における製品名 YCANTH[®]、以下「T0-208」）について、伝染性軟属腫及び尋常性疣贅を対象とした日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結し、現在、尋常性疣贅患者を対象として開発を進めています。

この度、Verrica 社と当社において米国及び日本国内で実施中の、成人及び2歳以上の小児の尋常性疣贅患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験（以下「本試験」）で、日本国内における最初の被験者登録が完了し初回投与が行われたことをご知らせいたします。

T0-208 は、カンタリジンを有効成分とするウイルス性疣贅治療剤（外用液剤）であり、塗布された部位において、中性セリンプロテアーゼの活性化を介して、表皮のデスモソームを脆弱化し、表皮構造を破壊することで、塗布部位に水疱を形成します。水疱の形成により病巣皮膚が剥がれ落ち、その結果、ウイルス感染組織が除去されることで同疾患への治療効果が期待されています。

本試験は、2歳以上の尋常性疣贅患者を対象に、T0-208 を21日毎に1日1回、計4回塗布した際の T0-208 の有効性及び安全性について、プラセボを対照とした二重盲検、無作為化、並行群間比較法により検討する試験です。

今後、本試験の成績等をもとに、日本国内における製造販売承認申請を目指してまいります。

なお、YCANTH[®]は、Verrica 社が米国において2023年7月に成人及び2歳以上の小児患者を対象として伝染性軟属腫の適応症で製造販売承認を取得し、2023年8月より販売しております。

また、日本国内においては、当社が2025年9月に同適応症で製造販売承認を取得し、2026年2月より「ワイキャンズ[®]外用液 0.71%」（一般名：カンタリジン）として販売しております。

<伝染性軟属腫について>

伝染性軟属腫は、ポックスウイルス科の伝染性軟属腫ウイルスによって引き起こされる感染性の高い皮膚感染症です。一般に「水いぼ」と呼ばれる小児に多く生じる疾患で、体幹や四肢に直径1～4mm程度の光沢のある丘疹が多数みられます。

<尋常性疣贅について>

尋常性疣贅は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によって生じる疾患であり、一般に「いぼ」と呼ばれています。主に手足に直径数 mm～1cm 程度の角化した隆起性病変がみられます。

以 上

この件に関するお問合せ先
鳥居薬品株式会社 経営企画部 広報担当
東京都中央区日本橋本町3丁目4番1号
電話 03-3231-6814